

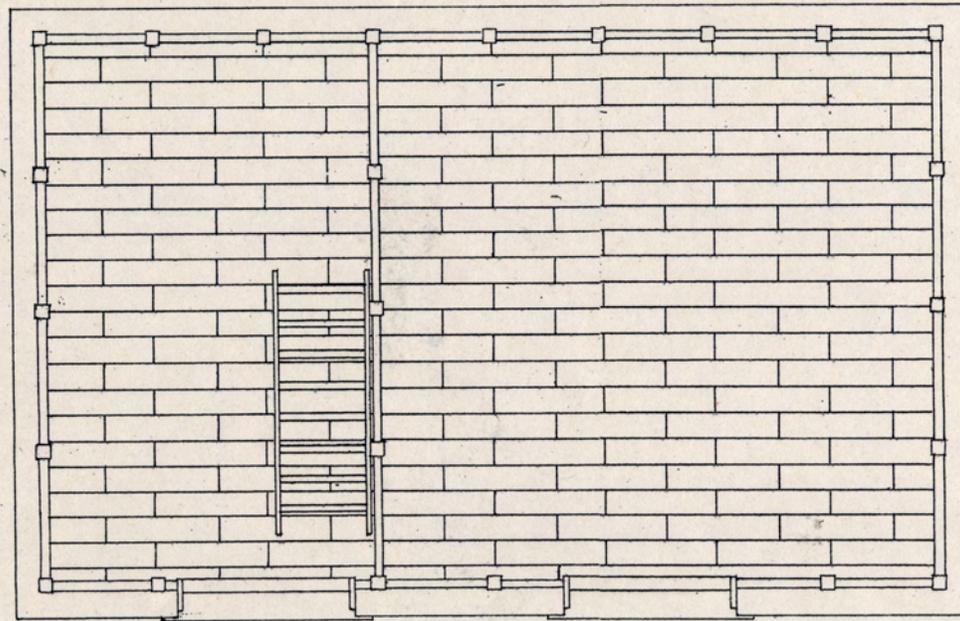
1. 所在 宮代町字東 410

2. 構造・大きさ 土蔵
屋根 切妻造り、瓦葺
正面 767 cm
側面 482 cm
御朱印蔵
屋根 切妻造り、瓦葺
正面 405 cm
側面 332 cm

3. 概要 西光院本堂の北側に隣接して西側に土蔵、東側に御朱印蔵は立地する。土蔵・御朱印蔵とも昭和 27 年の西光院の火災の際には類焼を免れた。御朱印蔵は徳川将軍家から拝領した御朱印状を御朱印箱に入れ御朱印蔵に納めていたという。戦中戦後は御朱印状を客殿（本堂）に移動し疎開者の住居として提供したという。御朱印蔵の鬼瓦には源氏の紋といわれる笹竜胆の紋が刻まれる。

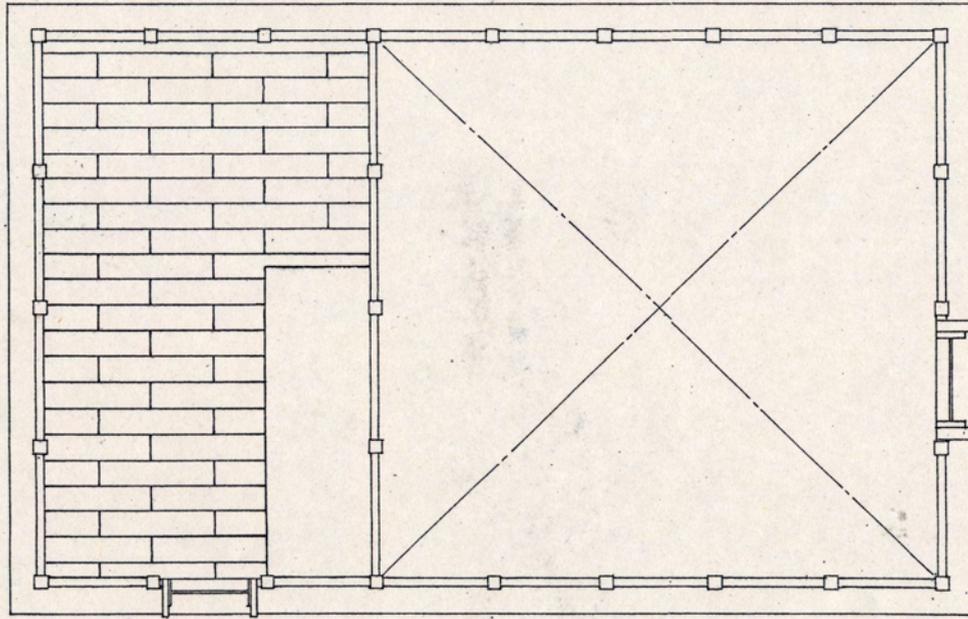
4. 建築年代 大正 14 年の図面に土蔵・御朱印蔵とも描かれる。寛政 2 年（1790）西光院の絵図には見られないが、文化 3 年（1806）に完成した日光道中分間延絵図に土蔵・御朱印蔵とも描かれている。寛政 5 年（1793）の西光院の火災の後に、文化 2 年に西光院は再興されるので、この時に建築された可能性が高いといえる。

5. 調査者 青木秀雄、河井伸一、青池紀子



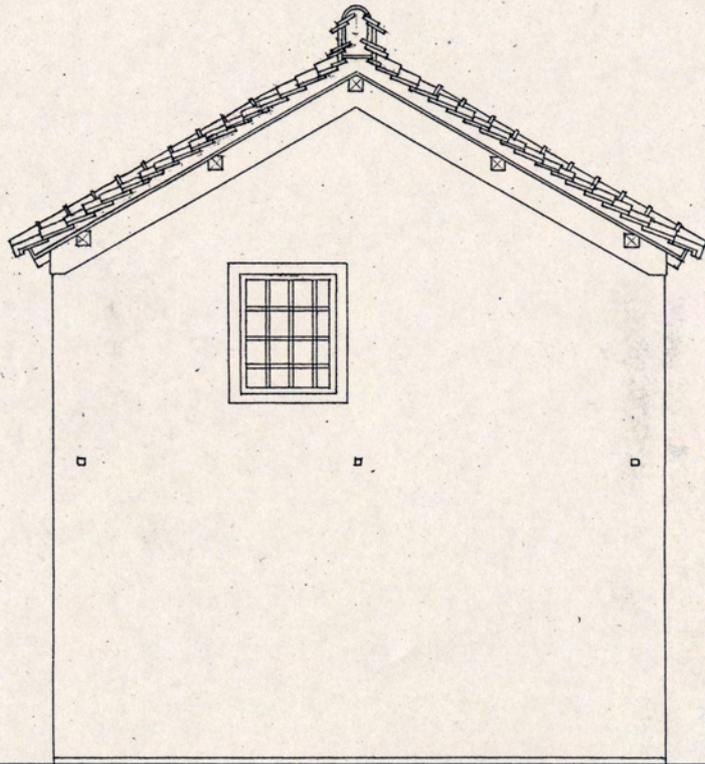
一階平面図

現場名	西光院 土蔵
縮尺	1/60
	NO.1

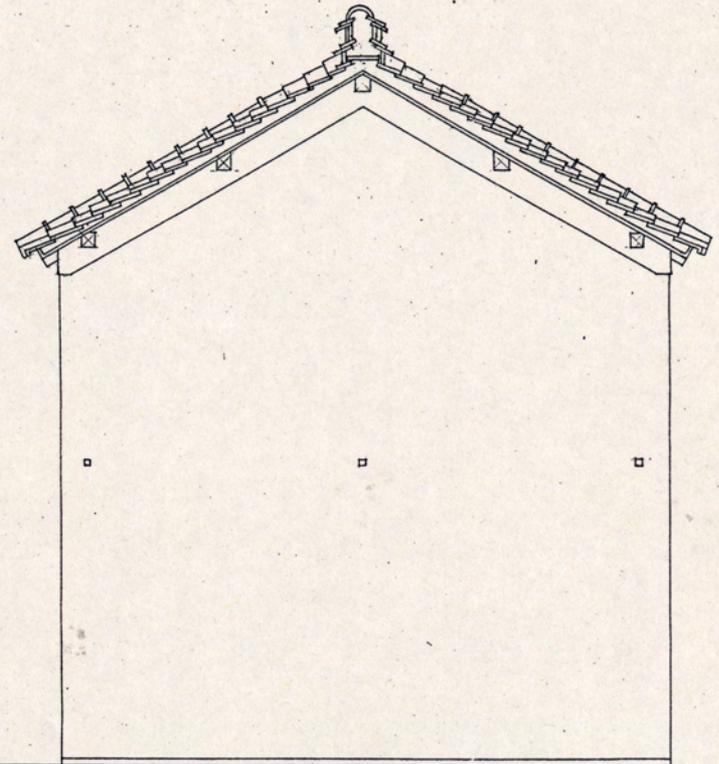


二階平面図

現場名	西光院 土蔵
縮尺	1/60
	NO 2

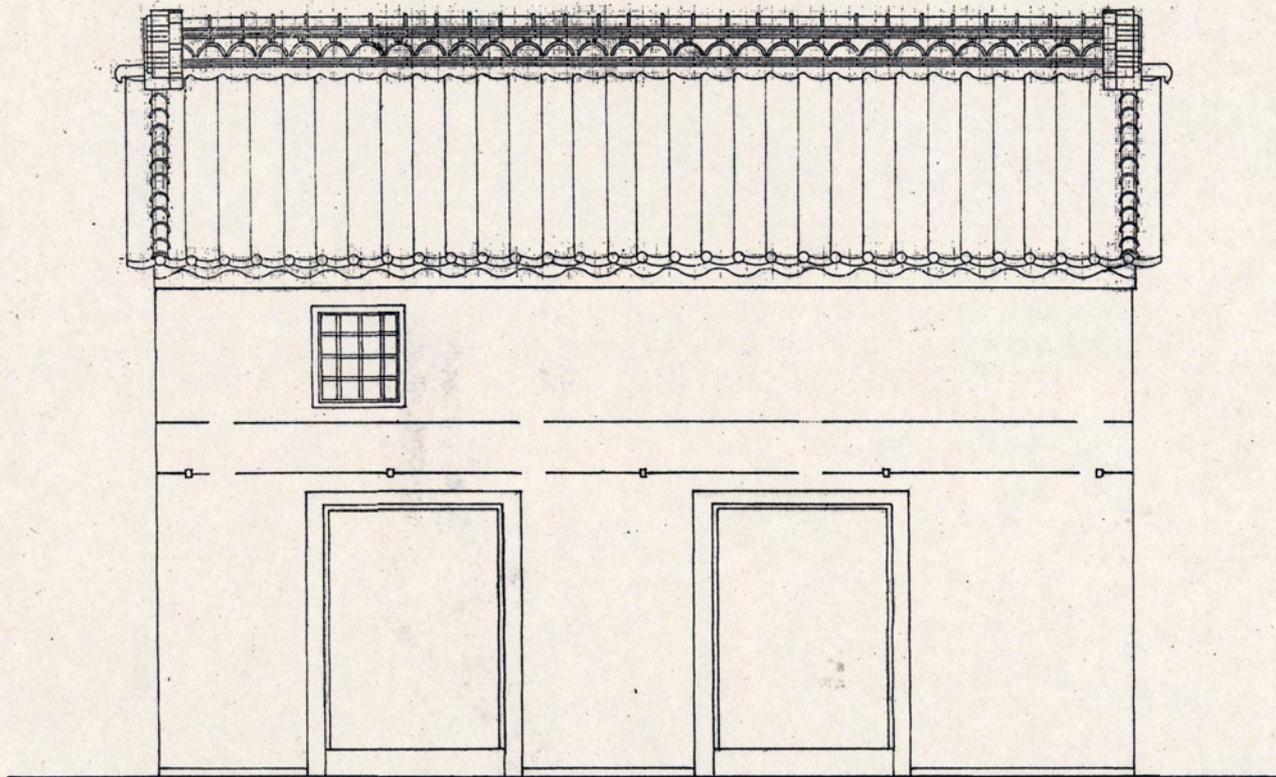


東側立面図



西側立面図

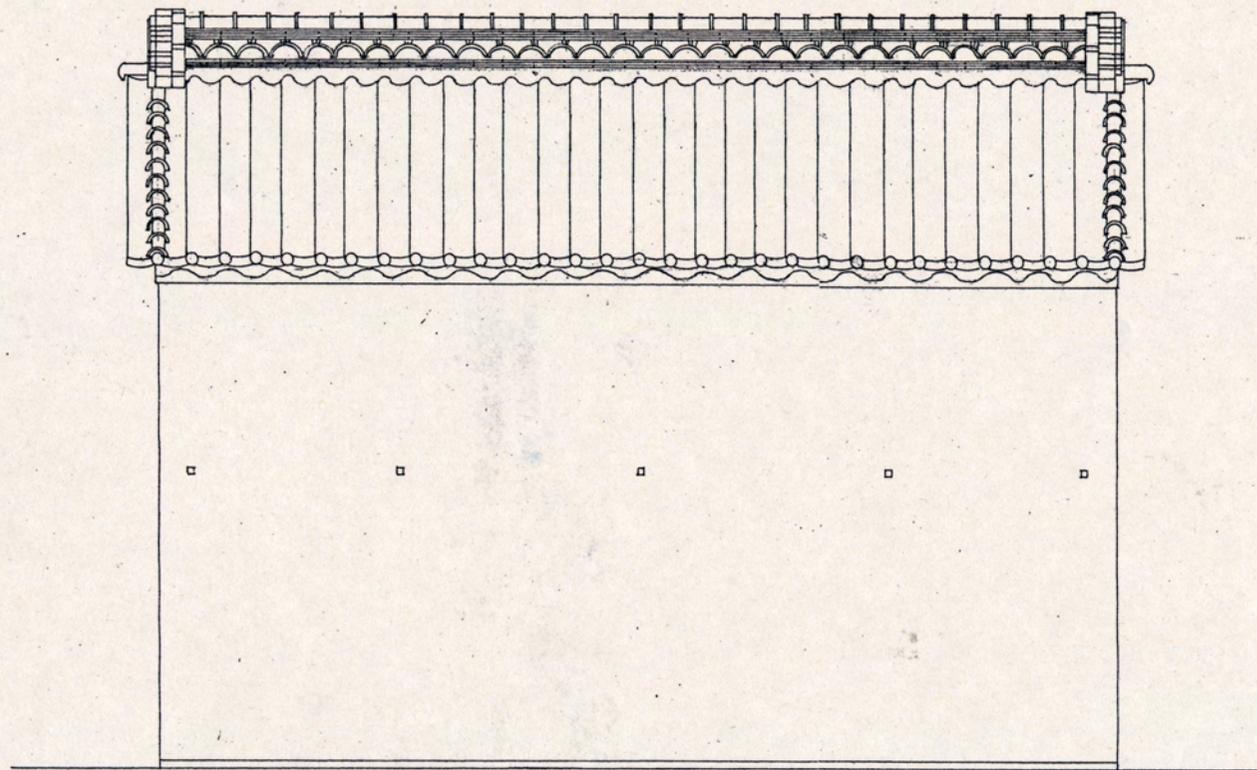
現場名	西光院 土蔵
縮尺	1/60
	N03



南侧立面图

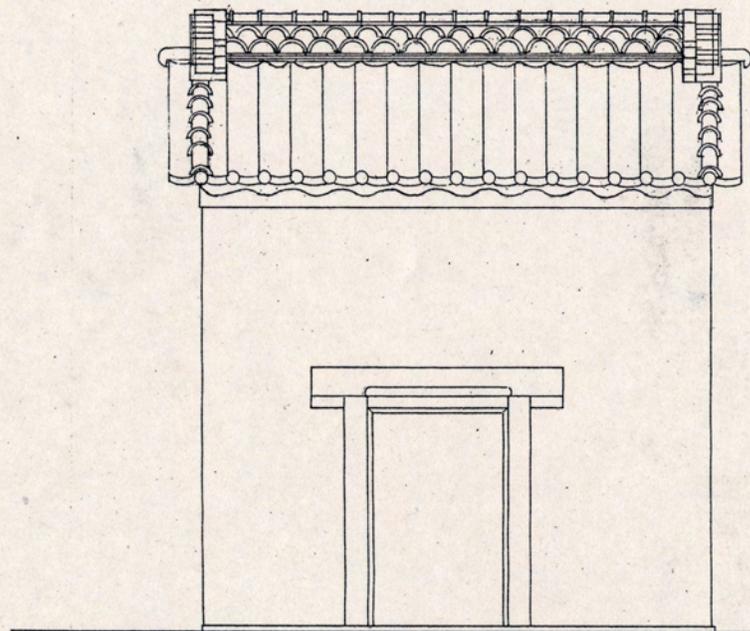
この図面上方部分 方眼紙も
 7.50-12使用

現場名	西光院 土蔵	縮尺	1/30	NO 4
-----	--------	----	------	------

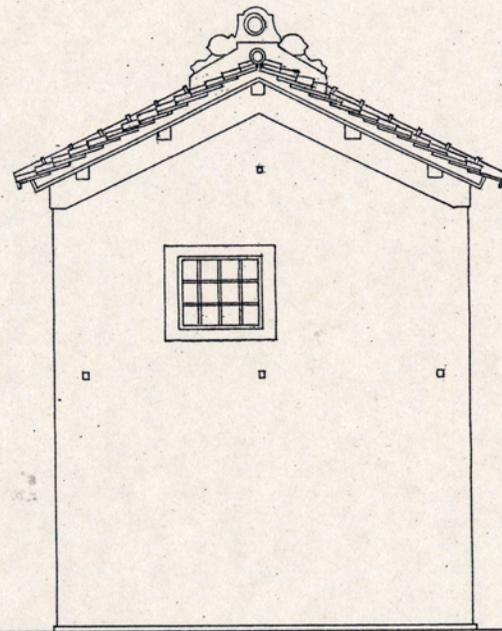


北側立面圖

現場名	西光院 土藏		
	縮尺	$\frac{1}{60}$	NO 5

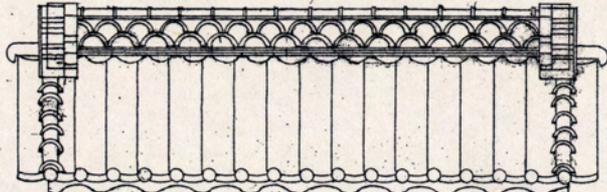


南側立面圖

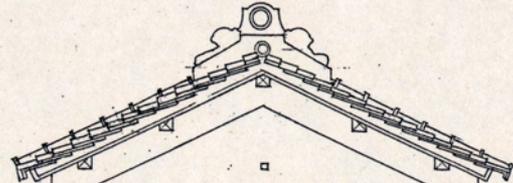


東側立面圖

現場名	西光院 朱印藏
縮尺	1/60
	NO 6



北側立面圖



西側立面圖

現物名	西光院 朱印藏		
	縮尺	$\frac{1}{60}$	NO 7

